



はいのたね



熱中症に注意！！

もうすぐ梅雨も明け、暑い季節がやってきます。この時期には、熱中症を起こさない為の注意が必要です。熱中症は、屋内・屋外を問わず高温や多湿等が原因となり発症します。

主な症状として、めまい・失神・頭痛・吐き気・気分不良等があり、体温の異常な上昇や、異常な発汗を認める事もあります。

予防として、直射日光を避け、こまめに水分補給を行い、吸湿性や通気性の良い衣類を着用して下さい。

応急措置としては、冷却と経口摂取による水分補給が基本ですが、経口摂取が困難な場合には点滴を行います。冷却は、腋の下・股・首等の動脈が集中する部分に氷枕等をあてて冷やし、応急措置での水分補給は、スポーツドリンクではナトリウム濃度が低く、病的脱水時に飲用すると低ナトリウム血症から水中毒を誘発する可能性がある為、経口補水液をお勧めします。

暑い夏、健康には十分気を付け、元気に過ごしましょう。



新任職員紹介 (社会福祉士)

平成 27 年 6 月 1 日より、御縁あって井上病院に勤務することとなりました。金尾です。地域医療連携室に所属し、退院調整・相談業務を行います。病院から在宅へ医療から介護へ切れ目のない支援が出来る事で、患者さんが入院前に送っていた普通の生活に戻れるよう、御家族・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所等と連携を図っていきたく思います。

さてこの度、私の日常生活には程遠かった、スカートとストッキングを身に着けるようになり、少々戸惑っております。ジャージ・ランニングシューズが良く似合うと言われる私ですから、足元や膝の位置に気を付けながら動いておりますが、膝の角度が大きい時は、注意して頂ければ幸いです。今後は、一日も早く仕事に慣れ、プライベートでは、漢検 2 級とフルマラソンに挑戦しようと思っておりますので、どうぞ宜しく御願い申し上げます。



第1回 井上病院



今年の春、当院では職員全員参加による

卓球大会が開催されました。休憩時間等を利用し、白熱した試合が行われ、スポーツを通して職員の親睦も深まりました。結果は予想通り(?) 通常より小さいラケットというハンデをはねのけ、森副院長の優勝となりました。

優勝、森 副院長
おめでとう！！

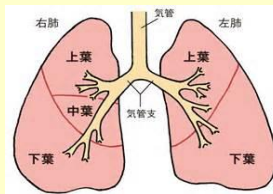


肺癌の治療について (非常におおまかな簡単な説明)

西川 敏雄



肺癌の治療法は、



- 癌細胞の種類 (小細胞肺癌と非小細胞肺癌)
- 癌の大きさと広がり (進行度) によって変わってきます。このうち頻度の高い非小細胞肺癌の治療法は大きく分けて ①手術療法 ②放射線療法 ③化学療法 の 3 つに分けられます。

①手術療法は目標の部位に存在する癌の全てを取り除くことを目的としています。したがって、治癒の可能性が最も高い治療法ですが、条件があります。

1. 癌が手術で取り除ける範囲にだけ、取り除けるような状態で存在すること (手術で癌が全て取り除けると判断される場合)
2. 体が手術に耐えられること

以上の条件に該当すれば手術は行われます。癌が肺以外の部位に広がっている (取り除ける範囲にない) 場合や肺に局限していても周囲とくっついていて剥がすことが困難な場合などには手術は行われません。



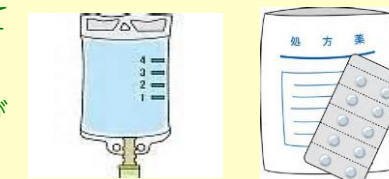
②放射線療法は手術に次いで強力な局所療法です。

局所療法というのは狙った場所 (放射線をあてた場所) にしか効果がないということです。放射線療法は肺と遠く離れた部位に癌の転移がある場合には行うことができません。遠く離れた部位にある癌に対しては放射線があたりず効果がないからです。



③化学療法は抗癌剤などによる治療のことをいいます。

抗癌剤などの薬は体全体をめぐるので癌が肺だけでなく他の部位に広がっている場合に使用されます。近年、使用される薬が非常に進歩してきました。点滴で使用されるものだけでなく、癌の遺伝子を調べて効果がある可能性が高いと判断される場合には分子標的薬という飲み薬も使用されています。また、新しい薬も開発されてきています。



これらの治療を行うことによって肺癌治療の成績は非常によくなりました。

疑問点や、この治療法がよいのではないかとといった質問等ございましたら、いつでも御相談下さい。